

平成24年度 当初予算の概要



平成24年4月 箕面市

目次

◆平成24年度 当初予算の概要

予算全体の規模	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
経常収支のバランス	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
基金の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
市債の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3
緊急プラン（素案）・ゼロ試案	・・・・・・・・	P 4

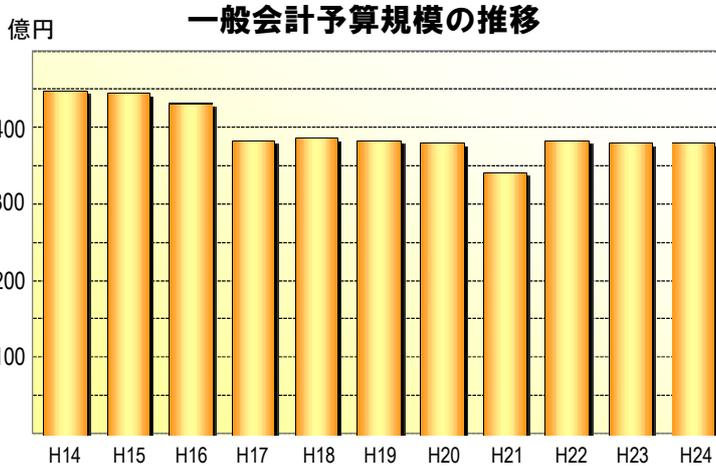
◆平成24年度 重点施策の概要

安心・支え合い最優先	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 5
子育てしやすさ日本一	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 7
緑・住みやすさ最先端	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 9
市役所改革・財政改革の断行	・・・・・・・・	P 11

1. 予算全体の規模

◆ **一般会計の予算額** **380億70百万円** <▲80百万円、▲0.2%>

人件費や建設事業費などが減りましたが、全体として予算規模は横ばいです。



◆ **全事業会計の予算額**
(特別会計・企業会計を含む)

1,297億82百万円

<+84億73百万円、+7.0%>

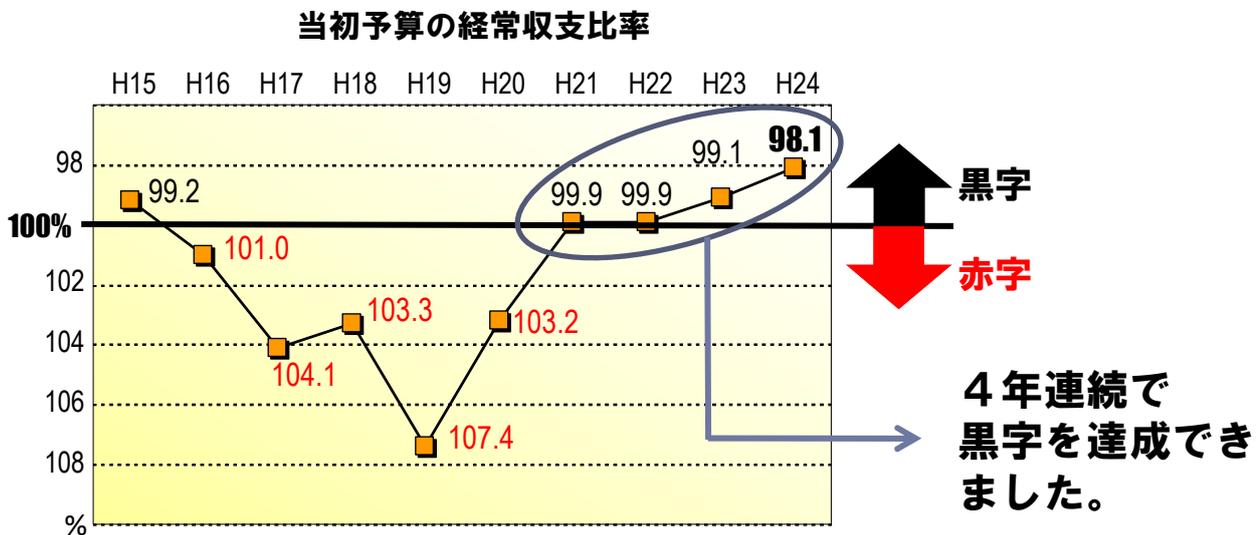
特別会計の競艇事業費において、SG競走「賞金王決定戦競走」を開催するため、予算規模が拡大しました。

2. 経常収支のバランス

市の財政が「健全」かどうかを表すバロメーターの一つが「**経常収支比率**」です。家計にたとえると、「毎月の給料で、毎月の生活費がまかなえているか？」を示しています。(「経常収支比率」が100%を超えると、家計では「赤字」の状態です。)

◆ **経常収支比率** **98.1%** <▲1.0ポイント>

平成24年度予算では、税金は前年度とほぼ同じで、厳しい状況に変わりはありませんが、歳出抑制の努力などにより、前年度よりも1.0ポイント改善しています。



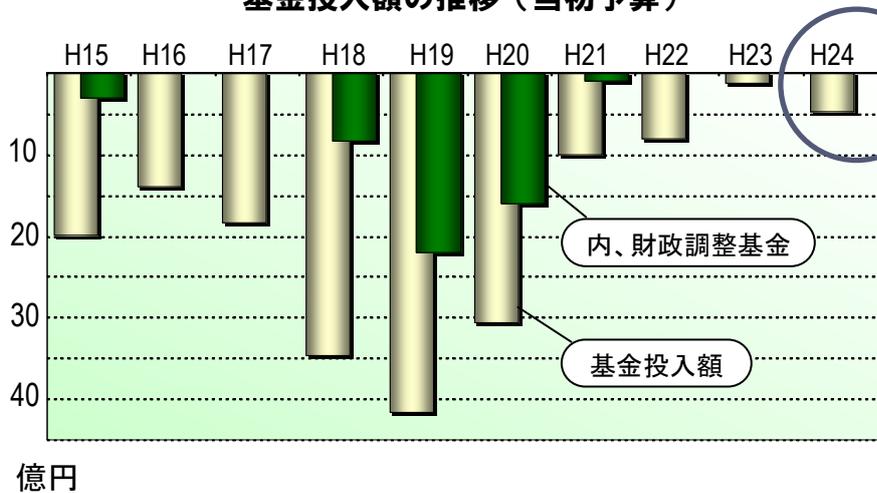
3. 基金の状況

「基金」とは、家計で言うところの「貯金」です。
 急な出費や、未来への思い切った投資などのためのお金ですから、日々の生活費のためだけに
 取り崩し続けるといったことのないようにしなければなりません。

◆ **基金投入額** **4億85百万円** <+3億47百万円、+252.1%>
 (取崩額－積立額)

取り崩しを必要最小限の6億36百万円に抑える一方で、「未来子ども基金」、「交通施設整備
 基金」などに1億51百万円積み立てました。

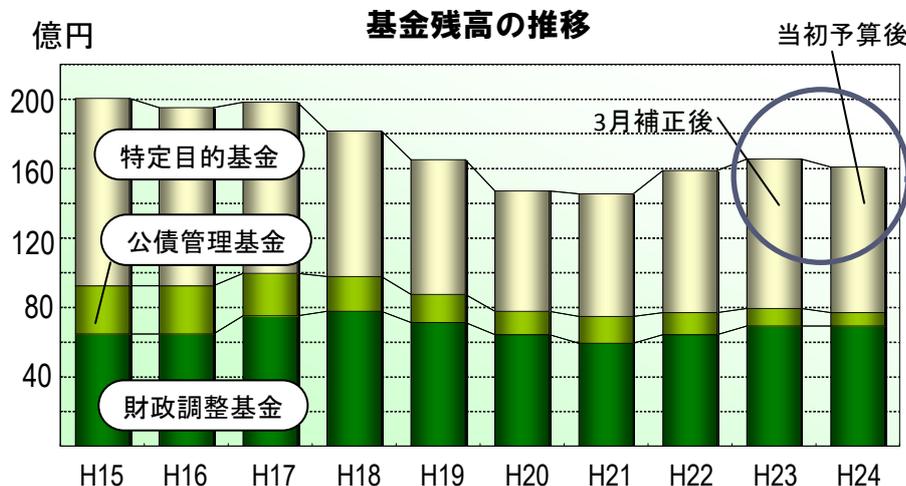
基金投入額の推移（当初予算）



取り崩しを必要
 最小限に抑え、
 新たな積み立て
 もしました。

◆ **基金残高** **160億64百万円** <▲4億76百万円、▲2.9%>
 (普通会計ベース)

将来への投資に活用しつつ、基金残高をなるべく減らさないようにしました。



将来への投資に
 活用しつつ、取
 り崩しは極力、
 抑制しました。

4. 市債の状況

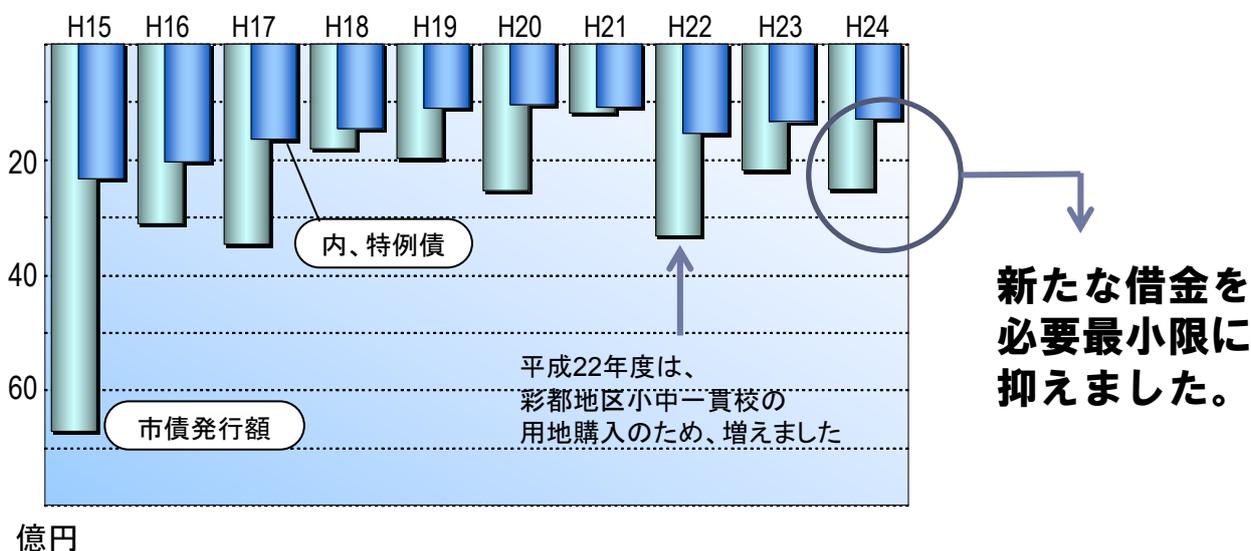
「市債」とは、家計でいうところの「借金」「ローン」です。
 月々の給料で返済していける、現実的な残高であることが重要です。

市の借金は、「生活費が足りなくなったから借りる」というものではなく、この先長く使う施設(学校など)は今の住民だけが使うわけではないので、その建設費などを将来の住民にも負担していただくべきとの考えから、(基金があっても)市債を発行することがあります。

◆ 市債発行額 25億20百万円 <+3億27百万円、+14.9%>

来年5月、小野原西でオープンを予定している「多文化交流センター(仮称)」などの整備のため、施設整備事業債を約12億20百万円発行しました。
 (臨時財政対策債は限度額まで全額発行せず、13億円の発行に抑制しました。)

市債発行額の推移

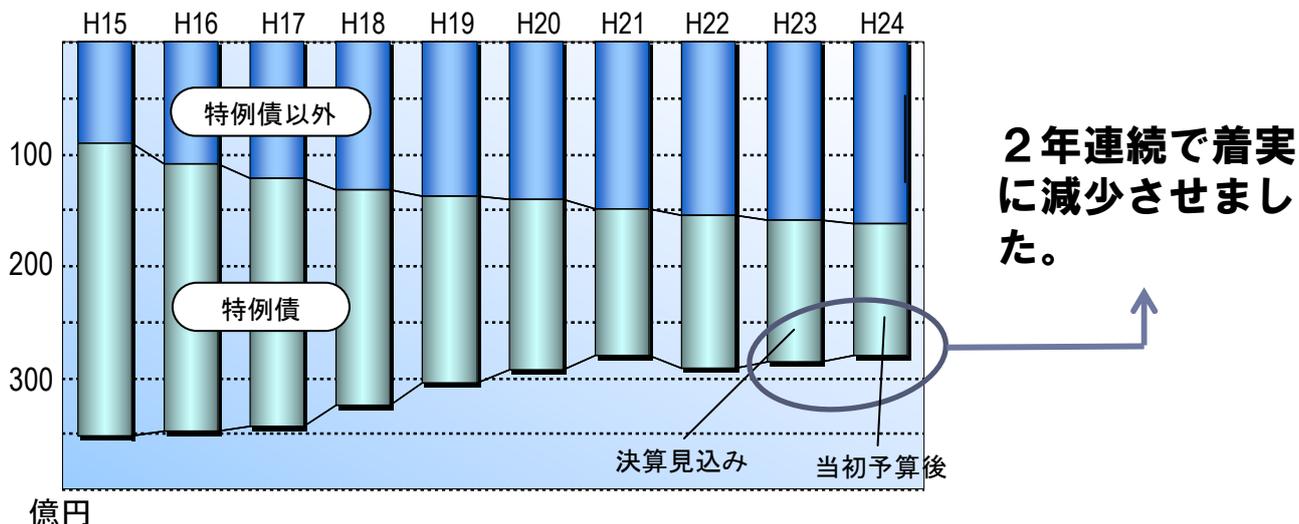


◆ 市債残高 280億43百万円 <▲5億57百万円、▲1.9%>

(普通会計ベース)

前年度から約6億円減少させました。

市債残高の推移



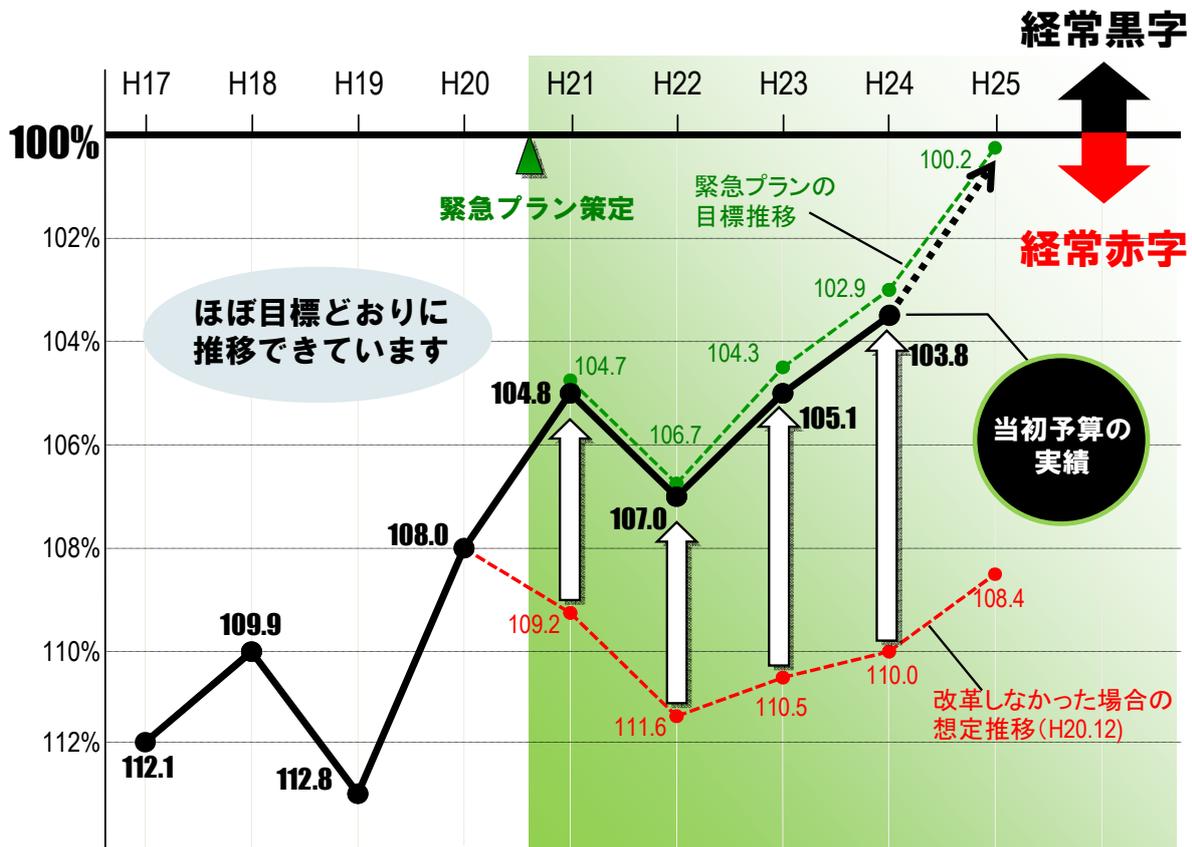
緊急プラン(素案)・ゼロ試算について

「ゼロ試算」の改革項目に加え、「さらなる内部改革」を実施し、予算に反映しました。景気の低迷や社会保障関係経費の大幅な増加など本市を取り巻く環境に好転が見込めず、引き続き厳しい予算編成でしたが、改革は着実に進展しています。

「さらなる内部改革」の継続

- ・ 財源不足は平成25年度に解消し、平成27年度に経常赤字からの完全脱却を達成できる見込みとなりました。市民の皆さまのご理解とご協力に心からお礼申し上げます。
- ・ 引き続き、さらなる内部改革を進め、目標の早期完全達成をめざします。
- ・ 新年度の当初予算(案)では、48施設の管理業務を一括で契約して経費削減する管理業務の総合一括委託、税務証明窓口におけるアウトソースなどの実現をめざしています。

◆ 改革による経常収支比率の改善



- ・ 経常収支比率は98.1%に抑えることができましたが、臨時財政対策債を除いた“素”の経常収支比率は103.8%となっています。
- ・ 改革による効果は、緊急プランの目標を上回ったものの、全国的な課題である後期高齢者医療費や生活保護費など社会保障経費の大幅な増加により、緊急プランのH24目標値である102.9%に対して0.9ポイント差となりました。
- ・ 各年度で緊急プランの目標値をわずかずつ上回ってはいるものの、ほぼ目標どおりの推移となっており、「経常収支比率の完全均衡(完全な経常黒字)」への歩みを着実に進めることができます。

平成24年度 重点施策の概要



安心・支え合い最優先！

子育てしやすさ日本一！

緑・住みやすさ最先端！

市政運営を着実に実行するために
市役所改革・行政改革の断行

平成24年4月 箕面市

安心・支え合い 最優先

市民の安全・安心の確保と、
地域での支え合いを醸成する
取り組みを進めます



重点施策

1. 「災害に強い箕面」の実現 【予算額 52,307千円】
2. 多世代交流センターと新・永寿園 複合施設の整備 【予算額 1,190,798千円】
3. 市立病院における医療の充実と赤字の圧縮 【予算額 246,825千円】
4. 上下水道における経営改革
5. 防犯灯のLED化の促進 【予算額 26,460千円】
6. 自転車の安全対策の強化・拡充 【予算額36,987千円】

1 「災害に強い箕面」の実現

- 地区福祉会、青少年を守る会、コミュニティセンター管理運営委員会、消防団、自治会など、地域の活動団体を中心に、小学校区単位の地区防災委員会の設立を支援します。
- 避難所の運営体制の構築と機能強化、市役所内部の防災体制の再編成や機能強化を集中的に実施します。
- 来年1月、本市初の全市一斉防災訓練を実施します。



〈市民による防災活動〉

2 「多世代交流センター」と「新・永寿園」 複合施設の整備

〈完成イメージ〉



来年4月オープン！

- 旧清掃工場跡地に「多世代交流センター」（新・松寿荘、子育て支援センター）と養護老人ホーム「新・永寿園」を整備します。
- 整備・運営は民間法人が一体的に行います。

3

市立病院における医療の充実と赤字の圧縮

- 地域医療支援病院として高度な手術に対応するため、手術関係機器や内視鏡関係機器などの医療機器を整備します。
- リハビリテーション部門の人員を増やし、現在の週6日実施を見直して一年365日休まず回復期リハビリテーションを実施します。
- 平成28年度の独立採算の運営に向けて、新年度は前年度から2.6億円の赤字を圧縮します(当初予算比)。

4

上下水道における経営改革

- 1 料金の値上げをしないこと
かつ
- 2 施設・管路の耐震化と更新を着実に進めること

の2点を目標とする経営改革プランに基づき、平成32年度までに2.4億円の年間経費を削減します。

- 今後は、施設・管路の維持に必要な投資的経費を精査し、上水道は投資と収益のバランスを勘案しながら、さらなる利用者への還元方策を検討し、また、下水道は料金の値下げも視野に入れて着実な経営改革を進めます。



5

防犯灯のLED化の促進

- 電力消費量の削減と維持費削減をめざして、今後3年間で全ての防犯灯(6,700灯)をLED化します。このため、自治会の防犯灯改修に対する補助率を75%から90%に大幅拡大します。

6

自転車の安全対策の強化・拡充

- 車から自転車と歩行者を守る専用道路を新設するなどハード対策を実施します。
- 箕面警察署と連携した取り締まりの強化、事故を実演する「スケアードストレート」など子どもたちを対象とする新たな安全教育を拡充します。



子育てしやすさ 日本一

子育てがしやすく、子どもたちが
健やかにのびのびと育つ環境を
整えます



重点施策

1. 中学校給食の導入 【予算額 41,300千円】
2. 待機児童ゼロをめざした保育所整備 【予算額 217,358千円】
3. 教職員人事権の移譲 【予算額 6,667千円】
4. 子育て支援の新展開(子育ての選択肢の拡充) 【予算額 396,653千円】

1 中学校給食の導入

- 全中学校で、自校調理方式による中学校給食を導入します。
- とどろみの森学園と彩都の丘学園の2校は本年9月から、一中から六中は給食室の整備を経て、来年9月からスタートします。



〈小中一貫校における給食風景〉

2 待機児童ゼロをめざした保育所整備

- 本年4月に彩都で定員80名の保育園をオープンします。
- 平成25年度のオープンをめざして、箕面森町で定員70名(予定)の新・保育園の整備準備に着手します。

H23	+150名	つばさ学園(+120名)	みずず学園森町保育園(+30名)
H24	+120名	彩都みのり保育園(+80名)	瀬川保育園(+40名)
H25	+70名	(仮称)森町保育園(+70名予定)	合計400名以上の定員増!
H26	+75名	(仮称)夢工房保育園(+75名予定)	

3 教職員人事権の移譲

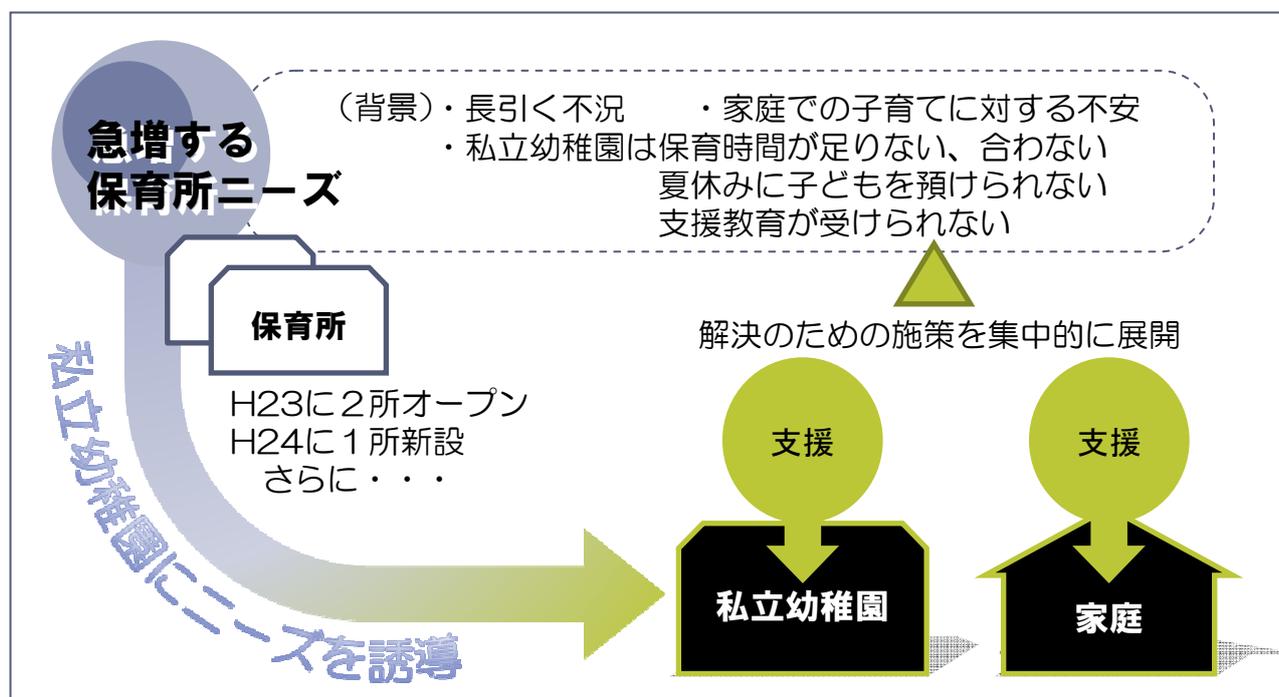
- 豊能地区3市2町で取り組んできた全国初の教職員人事権の移譲を実現し、箕面の子どもの先生の先生になりたい、箕面にこだわりたいと強く希望する優秀な人材を確保・育成します。

4

子育て支援の新展開（子育ての選択肢の拡充）

i 私立幼稚園での保育の充実

- 府内トップの私立幼稚園児保護者補助金をさらに拡大し、「子育て応援幼稚園保護者補助金」に再編。長時間保育を実施する私立幼稚園に通う園児の保護者への補助金を上乘せし、対象も3歳児まで拡大します。
- 長時間保育を促進するため私立幼稚園への補助金を拡充します。
- 支援教育を進める私立幼稚園に対して、補助金の交付と、市の専門スタッフの派遣によりサポートします。



ii 子育て支援センターの全市展開

- 現在2カ所(萱野、箕面)の子育て支援センターについて、全8カ所への拡大(中学校区に1カ所)をめざします。
- 来年4月にオープン予定の「新・松寿荘」に併設して、3カ所めの子育て支援センターを開設します。

iii 私立幼稚園の保護者補助金の支給の早期化・回数増

- 私立幼稚園保護者補助金の再編とあわせて、支給時期の早期化、支給回数の大幅増を実現しています。平成24年度からは、ほぼ毎月支給となります。

緑・住みやすさ 最先端

豊かな緑を守り、便利で住みやすく、
元気で活力ある箕面をめざして、
まちづくりを進めます



重点施策

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 山なみ景観の保全 | 【予算額 2,072千円】 |
| 2. 小野原への公共施設の新設 | 【予算額 772,839千円】 |
| 3. 新たな局面を迎える北大阪急行線の延伸 | 【予算額 450,304千円】 |
| 4. 箕面駅前第一駐車場・駐輪場のリニューアル | 【予算額 4,638千円】 |
| 5. 桜井駅前地区の再整備 | 【予算額 1,765千円】 |
| 6. オレンジゆずるバスの実証運行 | 【予算額 150,764千円】 |

1 山なみ景観の保全

- 景観を阻害する危険性が特に高いエリアを絞り込み、都市計画法や景観法を活用する新たな規制を導入します。
- 墓地の経営許可などの権限が大阪府から本市に移譲されることを契機として、設置場所を学校、店舗などの敷地から300メートル以上離れた場所に限るなど、従来のおおさか府内の一貫ルールを超えた、本市独自の墓地開発規制を導入します。



〈北摂山系の山なみ〉

2 小野原への公共施設の新設

「小野原多世代地域交流センター」が10月オープン！

- 本年10月、小野原東で「小野原多世代地域交流センター」がオープンします。高齢者の豊かな経験を活かした次世代との交流や、世代を超えたふれあいの場とするため、(公社)箕面市シルバー人材センターが指定管理者として施設を運営します。

「多文化交流センター(仮称)」が来年5月オープン！

- 来年5月、小野原西に、図書館を併設して「多文化交流センター(仮称)」をオープンする予定です。国際色豊かな地域の特性を活かすため、指定管理者は(財)箕面市国際交流協会を予定しています。

3

新たな局面を迎える北大阪急行線の延伸

- 昨年8月、事業化に至る諸条件について箕面市、阪急電鉄(株)、北大阪急行電鉄(株)の3者で「北大阪急行線の延伸に係る確認書」を締結しました。
- 事業化に向けた動きが最終段階に近づいており、平成24年度は国、大阪府、鉄道事業者と共同で、鉄道の基本設計、測量調査、地盤調査に着手します。
- また、延伸に伴い、必要となる新駅予定地周辺のまちづくりについて、地権者の意向調査や整備手法のあり方を調査・検討します。さらに、交通施設整備基金に1億円を積み立てします(積立金の額は30億円を超えています)。
- 平成30年度の開業に向けて、今後、平成25年度末の着工をめざし、社会資本整備総合交付金の活用と、都市計画決定や事業許可に向けた手続きの準備を進めます。



〈新箕面駅(仮称)イメージ〉

4

箕面駅前第一駐車場・駐輪場のリニューアル

- 駅周辺の回遊性の向上と賑わいの創出をめざして、老朽化した箕面駅前第一駐車場・駐輪場のPFI手法によるリニューアルに向け、民間事業者の公募・選定を実施します。

5

桜井駅前地区の再整備

- 地元との連携を密にし、「歩いて暮らせるまちづくり」をコンセプトに、桜井駅前地区の再生を進めます。

6

オレンジゆずるバスの実証運行

- 市民参画による地域公共交通活性化協議会において、店舗とのタイアップやまち巡りの企画など、様々な利用促進策を検討、実行しながら来年4月の本格運行をめざします。



市役所改革・財政改革の断行

市役所が実行力と機動力を発揮し、子どもたちにツケを回さない行財政運営と、市民視点の使いやすい市役所をめざします

重点施策



- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 図書館サービスの充実と効率化 | 【予算額 110,359千円】 |
| 2. 公共施設における管理業務の総合一括委託 | 【予算額 111,000千円】 |
| 3. 指定管理者の管理運営に対する外部評価の導入 | 【予算額 626千円】 |

1 図書館サービスの充実と効率化

- 小野原西に建設する「多文化交流センター(仮称)」内に、7館めの図書館を建設するほか、図書購入費の倍増、ICタグを利用した簡単・便利な自動貸出機の運用開始などサービスを充実し、かつ、現在の6館体制にかかっている運営経費よりも少ない経費で運営する徹底的な効率化を実行します。



〈簡単・便利な自動貸出機〉

2 公共施設における管理業務の総合一括委託

- スケールメリットによる経費削減をめざし、48施設の管理業務を総合一括委託します。
- 年間効果額は26,326千円です。

3 指定管理者の管理運営に対する外部評価の導入

- 公共施設におけるサービスの向上をめざして、指定管理者制度を導入している全ての公共施設において外部評価を導入し、より使いやすい公共施設とするためのチェック体制を整備します。